

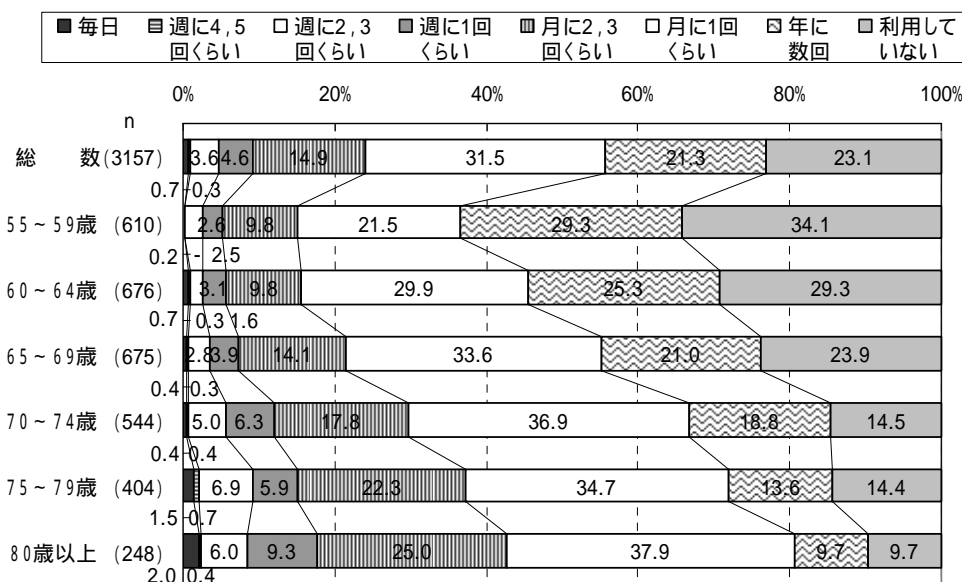
3 医療に関する事項

(1) 医療サービスの利用頻度 (Q22)

「病院や診療所など医療施設へ通院したり，往診に来てもらうなど，医療サービスを日頃どれくらい利用するか」について尋ねたところ，総数では，「月に1回くらい」が31.5%で最も高く，「年に数回」(21.3%)，「月に2,3回くらい」(14.9%)，「週に1回くらい」(4.6%)と続いている。「利用していない」は23.1%となっている。

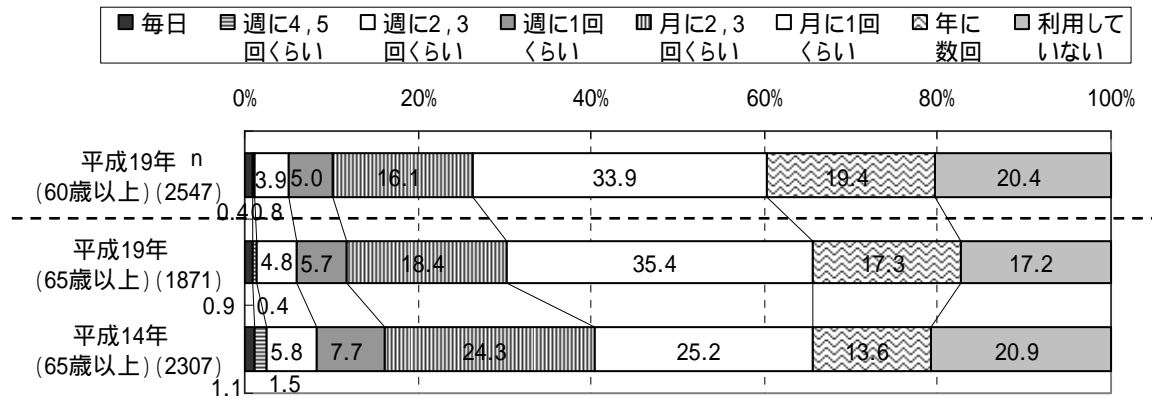
年齢別にみると，年齢層があがるとともに，利用頻度も高くなる傾向が示されている。55～59歳では，「利用していない」が34.1%で最も高く，「年に数回」がそれに続く。60～64歳，65～69歳，70～74歳では「月に1回くらい」が最も高く，「年に数回」がそれに続く。75～79歳では「月に1回くらい」が最も高く，「月に2,3回くらい」がそれに続く。80歳以上では，「月に1回くらい」が37.9%，「月に2,3回くらい」が25.0%と上昇し，「利用していない」は9.7%に低下している。

図3 - 1 - 1 医療サービスの利用頻度 (Q22)



65歳以上について、平成14年調査と比較すると、「利用していない」は20.9%から、今回調査では17.2%に低下している。また、平成14年調査と比べて、「月に2,3回くらい」が24.3%から18.4%に低下し、「月に1回くらい」は25.2%から35.4%に上昇しており、頻度がやや低くなる傾向がみられる。

図3 - 1 - 2 時系列にみた医療サービスの利用頻度（Q22）



<総数>

都市規模別にみると、町村で「利用していない」が25.4%とやや高い。

性別では、大きな差はみられない。

現在の健康状態別にみると、良い層では「利用していない」が38.0%に達する。普通の層では「月に1回くらい」が36.1%で最も高く、「年に数回」がそれに続く。あまり良くない、良くない層でも、「月に1回くらい」が最も高いが、「月に2,3回くらい」がそれに続いて高くなっており、「週に2,3回くらい」も1割を超えている。

<55～59歳>

都市規模別にみると、町村で「利用していない」が39.1%と高くなっている。

性別では、大きな差はみられない。

現在の健康状態別にみると、良い層では「利用していない」が43.2%に達する。あまり良くない、良くない層では、「月に1回くらい」「月に2,3回くらい」に集中する傾向にある。

<60歳以上>

都市規模別では、大きな差はみられない。

性別でも、大きな差はみられない。

現在の健康状態別にみると、良くない層では、「月に2,3回くらい」が28.6%で最も高く、次いで「週に1回くらい」「週に2,3回くらい」がいずれも13.2%と頻度が高くなっている。

表3 - 1 - 1 属性別にみた医療サービスの利用頻度 (Q 2 2)

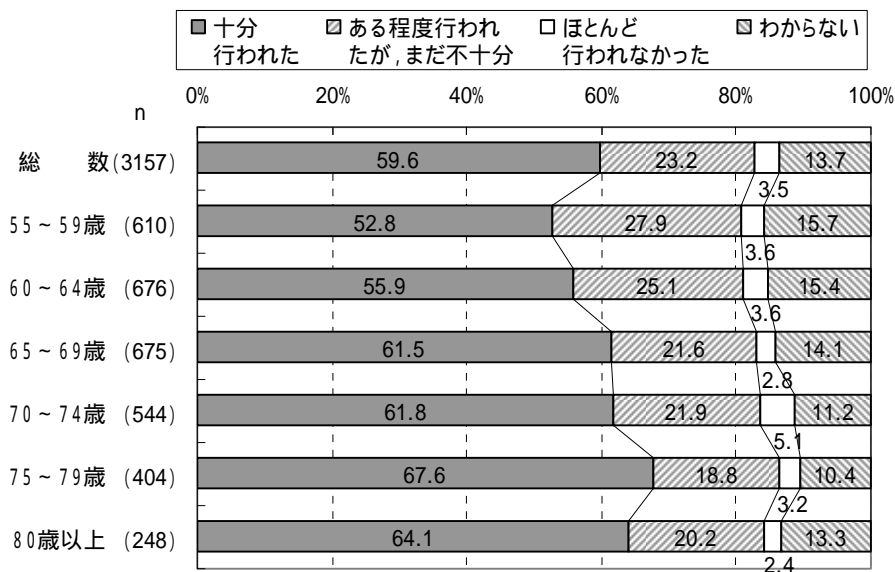
	総 数	毎 日	週に4, 5回くら い	週に2, 3回くら い	週に1回 くらい	月に2, 3回くら い	月に1回 くらい	年に数回	利用して いない	利用して いる (計)
(単位: %)										
**【 総 数 】	3157	0.7	0.3	3.6	4.6	14.9	31.5	21.3	23.1	76.9
*都市規模別										
大都市	703	0.4	0.4	4.0	5.8	15.6	31.2	21.3	21.2	78.8
中都市	1262	1.3	0.2	3.5	4.8	14.9	31.8	21.2	22.3	77.7
小都市	790	0.1	0.4	3.7	3.0	14.4	31.8	21.8	24.8	75.2
町村	402	0.5	0.2	3.5	4.5	14.4	30.8	20.6	25.4	74.6
F 1 性別										
男性	1488	0.5	0.3	2.6	4.0	14.9	32.3	22.3	23.1	76.9
女性	1669	0.8	0.4	4.6	5.0	14.9	30.8	20.4	23.1	76.9
F 2 年齢										
5 5 ~ 5 9 歳	610	0.2	-	2.5	2.6	9.8	21.5	29.3	34.1	65.9
6 0 ~ 6 4 歳	676	0.7	0.3	1.6	3.1	9.8	29.9	25.3	29.3	70.7
6 5 ~ 6 9 歳	675	0.4	0.3	2.8	3.9	14.1	33.6	21.0	23.9	76.1
7 0 ~ 7 4 歳	544	0.4	0.4	5.0	6.3	17.8	36.9	18.8	14.5	85.5
7 5 ~ 7 9 歳	404	1.5	0.7	6.9	5.9	22.3	34.7	13.6	14.4	85.6
8 0 歳以上	248	2.0	0.4	6.0	9.3	25.0	37.9	9.7	9.7	90.3
Q 1 現在の健康状態										
良い	1085	0.4	0.2	1.2	1.6	7.4	23.9	27.5	38.0	62.0
まあ良い	657	0.5	0.2	2.3	3.8	15.1	35.2	22.4	20.7	79.3
普通	822	0.4	0.1	2.6	5.1	16.4	36.1	20.7	18.6	81.4
あまり良くない	493	1.4	1.0	10.8	9.7	26.0	36.3	10.1	4.7	95.3
良くない	100	5.0	1.0	13.0	12.0	28.0	29.0	8.0	4.0	96.0
良い(計)	1742	0.4	0.2	1.6	2.4	10.3	28.1	25.5	31.5	68.5
良くない(計)	593	2.0	1.0	11.1	10.1	26.3	35.1	9.8	4.6	95.4
【 5 5 ~ 5 9 歳 】										
総 数	610	0.2	-	2.5	2.6	9.8	21.5	29.3	34.1	65.9
*都市規模別										
大都市	126	-	-	3.2	7.9	9.5	18.3	28.6	32.5	67.5
中都市	226	0.4	-	2.2	2.2	10.2	22.1	32.3	30.5	69.5
小都市	166	-	-	3.0	-	9.6	23.5	26.5	37.3	62.7
町村	92	-	-	1.1	1.1	9.8	20.7	28.3	39.1	60.9
F 1 性別										
男性	271	0.4	-	1.8	3.0	9.6	22.9	28.4	33.9	66.1
女性	339	-	-	2.9	2.4	10.0	20.4	30.1	34.2	65.8
Q 1 現在の健康状態										
良い	278	0.4	-	1.1	1.1	6.8	15.1	32.4	43.2	56.8
まあ良い	107	-	-	0.9	3.7	9.3	20.6	33.6	31.8	68.2
普通	165	-	-	3.0	2.4	9.7	26.1	28.5	30.3	69.7
あまり良くない	51	-	-	9.8	9.8	25.5	37.3	11.8	5.9	94.1
良くない	9	-	-	11.1	-	22.2	55.6	-	11.1	88.9
良い(計)	385	0.3	-	1.0	1.8	7.5	16.6	32.7	40.0	60.0
良くない(計)	60	-	-	10.0	8.3	25.0	40.0	10.0	6.7	93.3
【 6 0 歳以上 】										
総 数	2547	0.8	0.4	3.9	5.0	16.1	33.9	19.4	20.4	79.6
*都市規模別										
大都市	577	0.5	0.5	4.2	5.4	17.0	34.0	19.8	18.7	81.3
中都市	1036	1.4	0.3	3.8	5.4	15.9	33.9	18.8	20.5	79.5
小都市	624	0.2	0.5	3.8	3.8	15.7	34.0	20.5	21.5	78.5
町村	310	0.6	0.3	4.2	5.5	15.8	33.9	18.4	21.3	78.7
F 1 性別										
男性	1217	0.6	0.3	2.7	4.3	16.1	34.4	21.0	20.6	79.4
女性	1330	1.1	0.5	5.0	5.7	16.1	33.5	18.0	20.2	79.8
Q 1 現在の健康状態										
良い	807	0.4	0.2	1.2	1.7	7.6	26.9	25.8	36.2	63.8
まあ良い	550	0.5	0.2	2.5	3.8	16.2	38.0	20.2	18.5	81.5
普通	657	0.5	0.2	2.4	5.8	18.1	38.7	18.7	15.7	84.3
あまり良くない	442	1.6	1.1	10.9	9.7	26.0	36.2	10.0	4.5	95.5
良くない	91	5.5	1.1	13.2	13.2	28.6	26.4	8.8	3.3	96.7
良い(計)	1357	0.4	0.2	1.8	2.6	11.1	31.4	23.5	29.0	71.0
良くない(計)	533	2.3	1.1	11.3	10.3	26.5	34.5	9.8	4.3	95.7

(2) インフォームド・コンセントに対する認識 (Q23)

「これまでの治療におけるインフォームド・コンセント」について尋ねたところ、総数では、59.6%が「十分行われた」と回答している。「ある程度行なわれたが、まだまだ不十分である」は23.2%、「ほとんど行われなかった」は3.5%、「わからない」は13.7%となっている。

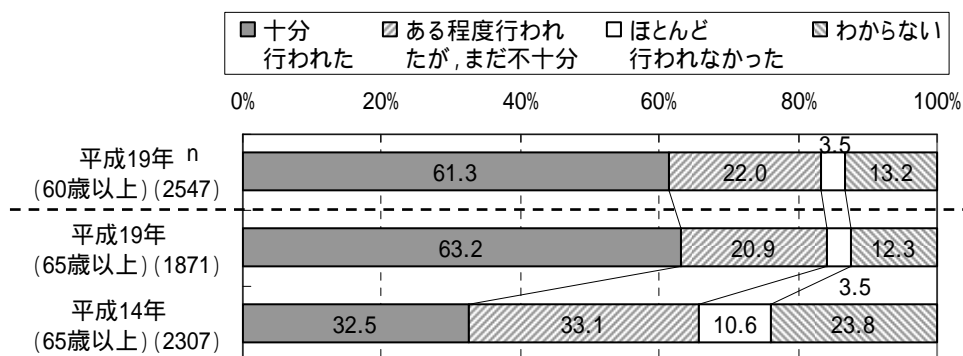
年齢別にみると、年齢層が高いほど「十分行われた」が高くなる傾向にあり、75～79歳では67.6%となっている。「ある程度行なわれたが、まだまだ不十分である」は、55～59歳で27.9%と高くなっている。

図3-2-1 インフォームド・コンセントに対する認識 (Q23)



65歳以上について、時系列にみると、平成14年調査と比較して、「十分行われた」は32.5%から63.2%に上昇し、「ある程度行なわれたが、まだまだ不十分である」は33.1%から20.9%に低下した。また、「わからない」が23.8%から12.3%に低下している。

図3-2-2 時系列にみたインフォームド・コンセントに対する認識 (Q23)



<総数>

都市規模別にみると、中都市、小都市では、「十分行われた」が6割を超えて高い。大都市では、「ある程度行なわれたが、まだまだ不十分である」が他と比較してやや高い。町村では、「わからない」が18.2%で他と比較して高い。

性別では、大きな差はみられない。

<55～59歳>

都市規模別にみると、大都市では、「ある程度行なわれたが、まだまだ不十分である」が34.1%と高い。町村では、「わからない」が23.9%で他と比較して高い。

性別で見ると、「ある程度行なわれたが、まだまだ不十分である」は、男性(24.4%)よりも女性(30.7%)で高くなっている。

<60歳以上>

都市規模別にみると、中都市、小都市では、「十分行われた」が6割を超えて高い。大都市、町村では、「ある程度行なわれたが、まだまだ不十分である」が他と比較してやや高い。

性別では、大きな差はみられない。

表3 - 2 - 1 属性別にみたインフォームド・コンセントに対する認識 (Q 2 3)

(単位：%)	総数	十分行われた	ある程度行われたが、まだ不十分	ほとんど行われなかった	わからない
【総数】	3157	59.6	23.2	3.5	13.7
*都市規模別					
大都市	703	55.5	26.6	4.0	13.9
中都市	1262	62.7	20.9	3.4	13.0
小都市	790	61.4	22.7	3.8	12.2
町村	402	54.0	25.1	2.7	18.2
F 1 性別					
男性	1488	59.8	22.6	3.8	13.8
女性	1669	59.5	23.6	3.4	13.5
F 2 年齢					
55～59歳	610	52.8	27.9	3.6	15.7
60～64歳	676	55.9	25.1	3.6	15.4
65～69歳	675	61.5	21.6	2.8	14.1
70～74歳	544	61.8	21.9	5.1	11.2
75～79歳	404	67.6	18.8	3.2	10.4
80歳以上	248	64.1	20.2	2.4	13.3
55～59歳(計)	610	52.8	27.9	3.6	15.7
60～74歳(計)	1895	59.6	23.0	3.7	13.7
75歳以上	652	66.3	19.3	2.9	11.5
【55～59歳】					
総数	610	52.8	27.9	3.6	15.7
*都市規模別					
大都市	126	46.8	34.1	4.0	15.1
中都市	226	57.5	25.7	4.0	12.8
小都市	166	56.6	25.9	1.8	15.7
町村	92	42.4	28.3	5.4	23.9
F 1 性別					
男性	271	55.7	24.4	3.7	16.2
女性	339	50.4	30.7	3.5	15.3
【60歳以上】					
総数	2547	61.3	22.0	3.5	13.2
*都市規模別					
大都市	577	57.4	25.0	4.0	13.7
中都市	1036	63.8	19.9	3.3	13.0
小都市	624	62.7	21.8	4.3	11.2
町村	310	57.4	24.2	1.9	16.5
F 1 性別					
男性	1217	60.7	22.3	3.8	13.2
女性	1330	61.8	21.8	3.3	13.1

(3) 最期を迎えたい場所 (Q24)

「治る見込みがない病気になった場合、どこで最期を迎えたいか」について尋ねたところ、総数では、「自宅」が54.6%で最も高く、「病院などの医療施設」が26.4%で、両者で全体の81.0%を占めている。「特別養護老人ホームなどの福祉施設」は6.0%、「高齢者向けのケア付き住宅」は4.9%となっている。

都市規模別にみると、「自宅」は大都市よりも小都市や町村で高くなっている。

性別にみると、女性よりも男性で「自宅」を希望する割合が高くなっている。

年齢別にみると、55～59歳では「病院などの医療施設」がやや高くなっている。

図3-3-1 最期を迎えたい場所 (Q24)

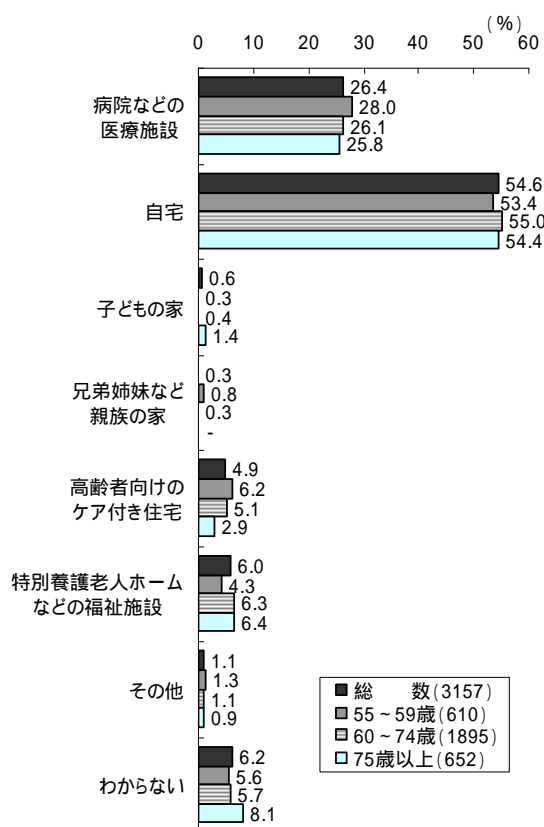


図3-3-2 都市規模別にみた最期を迎えたい場所 (Q24)

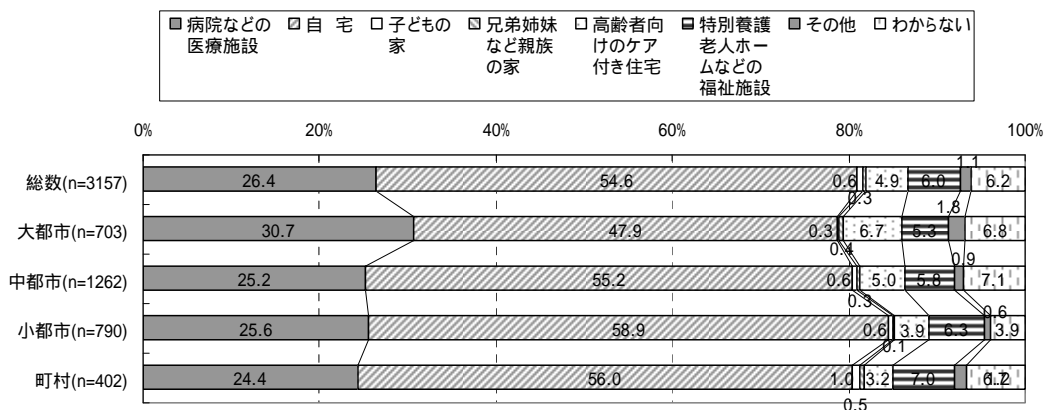


図3 - 3 - 3 性別にみた最期を迎えたい場所 (Q 2 4)

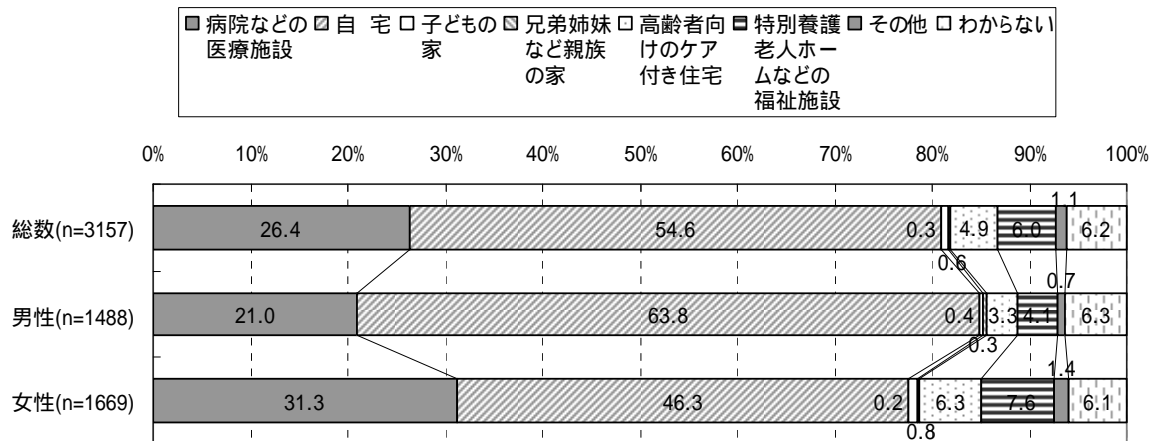
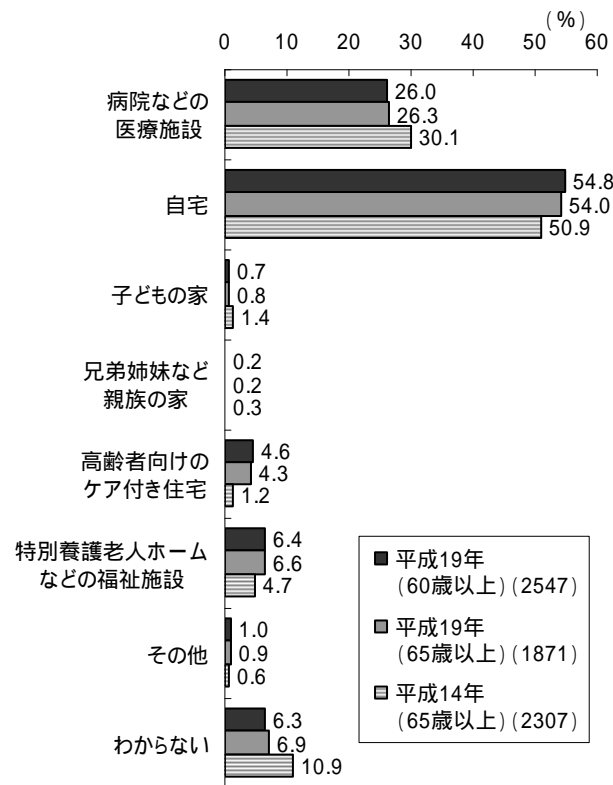


図3 - 3 - 4 時系列にみた最期を迎えたい場所 (Q 2 4)



<総数>

都市規模別にみると、大都市では「病院などの医療施設」が他と比較して高くなっている。中都市、小都市、町村では「自宅」を挙げる傾向が強い。

性別でみると、男性は63.8%が「自宅」をあげており、「病院などの医療施設」は21.0%と低い。女性では、「自宅」が46.3%とやや低くなり、「病院などの医療施設」が31.3%と高くなっている。比率は1割に満たないものの、「特別養護老人ホームなどの福祉施設」「高齢者向けのケア付き住宅」も、男性よりも女性でやや高い傾向にある。

年齢別にみると、「病院などの医療施設」は55～59歳で、「自宅」は60～64歳で高くなっている。

世帯構成別にみると、一人暮らしでは「病院などの医療施設」が37.7%と高い。比率は1割に満たないものの、「特別養護老人ホームなどの福祉施設」「高齢者向けのケア付き住宅」もやや高い。二世帯世帯では「自宅」が高くなり、三世帯世帯では「自宅」が61.8%と、特に高い。

<55～59歳>

都市規模別にみると、小都市で「自宅」を挙げる傾向が強い。

性別でみると、女性で「病院などの医療施設」「高齢者向けのケア付き住宅」が高い。男性では「自宅」を挙げる傾向が強い。

世帯構成別にみると、一人暮らしでは「病院などの医療施設」が40.5%と高い。三世帯世帯では「自宅」が63.6%と、特に高い。

<60歳以上>

都市規模別にみると、大都市では「病院などの医療施設」が高く、小都市、町村では「自宅」が高くなっている。

性別でみると、男性では「自宅」が64.0%と高くなっている。女性は、「病院などの医療施設」が男性よりも高く、さらに「特別養護老人ホームなどの福祉施設」がやや高くなっている。

世帯構成別にみると、二世帯世帯、三世帯世帯では「自宅」が高くなっている。一人暮らしでは「病院などの医療施設」「特別養護老人ホームなどの福祉施設」がやや高くなっている。

表3 - 3 - 1 属性別にみた最期を迎えたい場所（Q24）

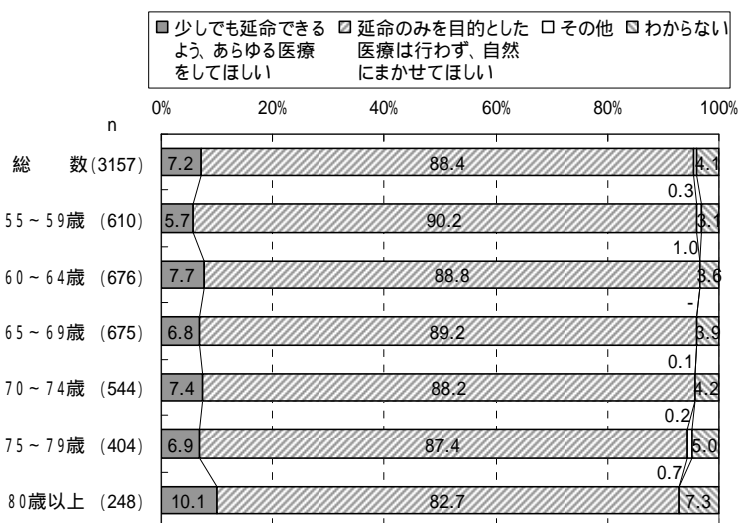
	総数	病院などの医療施設	自宅	子どもの家	兄弟姉妹など親族の家	高齢者向けのケア付き住宅	特別養護老人ホームなどの福祉施設	その他	わからない
(単位：%)									
【総数】	3157	26.4	54.6	0.6	0.3	4.9	6.0	1.1	6.2
*都市規模別									
大都市	703	30.7	47.9	0.3	0.4	6.7	5.3	1.8	6.8
中都市	1262	25.2	55.2	0.6	0.3	5.0	5.8	0.9	7.1
小都市	790	25.6	58.9	0.6	0.1	3.9	6.3	0.6	3.9
町村	402	24.4	56.0	1.0	0.5	3.2	7.0	1.2	6.7
F1 性別									
男性	1488	21.0	63.8	0.3	0.4	3.3	4.1	0.7	6.3
女性	1669	31.3	46.3	0.8	0.2	6.3	7.6	1.4	6.1
F2 年齢									
55～59歳	610	28.0	53.4	0.3	0.8	6.2	4.3	1.3	5.6
60～64歳	676	25.3	57.1	0.3	0.3	5.2	5.8	1.5	4.6
65～69歳	675	26.8	53.2	0.3	0.4	5.5	8.4	0.7	4.6
70～74歳	544	26.3	54.6	0.7	-	4.6	4.4	0.9	8.5
75～79歳	404	24.8	54.2	1.7	-	3.7	7.2	0.5	7.9
80歳以上	248	27.4	54.8	0.8	-	1.6	5.2	1.6	8.5
*世帯構成									
一人暮らし	302	37.7	31.8	2.3	0.7	7.3	8.6	3.3	8.3
一世代世帯	1240	24.8	54.5	0.6	0.1	6.2	6.1	1.0	6.7
二世代世帯	1008	26.2	57.4	0.2	0.5	4.4	5.2	1.1	5.1
（本人と子）	870	26.3	57.4	0.1	0.5	4.1	5.3	1.3	5.1
（本人と親）	138	25.4	58.0	0.7	0.7	5.8	4.3	-	5.1
三世代世帯	534	25.1	61.8	0.6	0.2	1.3	5.8	-	5.2
その他の世帯	73	19.2	57.5	-	1.4	5.5	4.1	1.4	11.0
【55～59歳】									
総数	610	28.0	53.4	0.3	0.8	6.2	4.3	1.3	5.6
*都市規模別									
大都市	126	29.4	47.6	-	1.6	8.7	4.0	0.8	7.9
中都市	226	29.6	54.9	-	-	4.4	4.9	1.3	4.9
小都市	166	24.1	58.4	0.6	0.6	7.8	3.0	1.2	4.2
町村	92	29.3	48.9	1.1	2.2	4.3	5.4	2.2	6.5
F1 性別									
男性	271	20.3	63.1	-	1.1	3.7	3.7	1.5	6.6
女性	339	34.2	45.7	0.6	0.6	8.3	4.7	1.2	4.7
*世帯構成									
一人暮らし	42	40.5	33.3	-	2.4	4.8	4.8	2.4	11.9
一世代世帯	163	27.6	51.5	-	-	11.0	1.8	1.2	6.7
二世代世帯	285	28.4	53.0	0.4	1.1	5.6	5.6	1.8	4.2
（本人と子）	226	29.6	51.3	-	0.9	6.2	5.3	2.2	4.4
（本人と親）	59	23.7	59.3	1.7	1.7	3.4	6.8	-	3.4
三世代世帯	99	27.3	63.6	1.0	-	1.0	4.0	-	3.0
その他の世帯	21	4.8	66.7	-	4.8	4.8	4.8	-	14.3
【60歳以上】									
総数	2547	26.0	54.8	0.7	0.2	4.6	6.4	1.0	6.3
*都市規模別									
大都市	577	31.0	48.0	0.3	0.2	6.2	5.5	2.1	6.6
中都市	1036	24.2	55.2	0.8	0.4	5.1	6.0	0.8	7.5
小都市	624	26.0	59.0	0.6	-	2.9	7.2	0.5	3.8
町村	310	22.9	58.1	1.0	-	2.9	7.4	1.0	6.8
F1 性別									
男性	1217	21.1	64.0	0.4	0.2	3.2	4.2	0.6	6.2
女性	1330	30.5	46.5	0.9	0.2	5.8	8.3	1.4	6.4
*世帯構成									
一人暮らし	260	37.3	31.5	2.7	0.4	7.7	9.2	3.5	7.7
一世代世帯	1077	24.4	55.0	0.6	0.1	5.5	6.8	0.9	6.7
二世代世帯	723	25.3	59.2	0.1	0.3	3.9	5.0	0.8	5.4
（本人と子）	644	25.2	59.5	0.2	0.3	3.4	5.3	0.9	5.3
（本人と親）	79	26.6	57.0	-	-	7.6	2.5	-	6.3
三世代世帯	435	24.6	61.4	0.5	0.2	1.4	6.2	-	5.7
その他の世帯	52	25.0	53.8	-	-	5.8	3.8	1.9	9.6

(4) 自分についての延命治療に対する考え方 (Q25)

「自分自身の病気が治る見込みがなく、死期が近くなった場合、延命のための治療を受ける」ことについて尋ねたところ、総数では、「延命のみを目的とした医療は行わず、自然にまかせてほしい」が88.4%を占め、「少しでも延命できるよう、あらゆる医療をしてほしい」は7.2%であった。

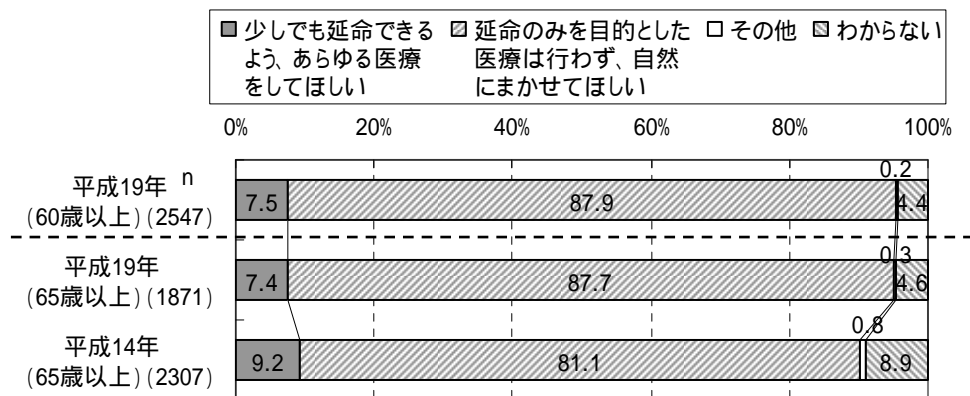
年齢別にみると、80歳以上で「少しでも延命できるよう、あらゆる医療をしてほしい」が10.1%と高く、「延命のみを目的とした医療は行わず、自然にまかせてほしい」は82.7%と低くなっている。

図3-4-1 自分についての延命医療に対する考え方 (Q25)



65歳以上について、時系列にみると、平成14年調査と比較して、「延命のみを目的とした医療は行わず、自然にまかせてほしい」は81.1%から87.7%に上昇し、「少しでも延命できるよう、あらゆる医療をしてほしい」は9.2%から7.4%に低下している。また、「わからない」が8.9%から4.6%に低下している。

図3-4-2 時系列にみた自分についての延命医療に対する考え方 (Q25)



<総数>

都市規模別では、大きな差はみられない。

性別では、女性で「延命のみを目的とした医療は行わず、自然にまかせてほしい」が91.0%と高く、「少しでも延命できるよう、あらゆる医療をしてほしい」は5.2%と低くなっている。男性では、「延命のみを目的とした医療は行わず、自然にまかせてほしい」は85.4%、「少しでも延命できるよう、あらゆる医療をしてほしい」は9.4%である。

現在の健康状態別にみると、良い層では「延命のみを目的とした医療は行わず、自然にまかせてほしい」が90.9%と高くなっている。

<55～59歳>

都市規模別にみると、町村で「延命のみを目的とした医療は行わず、自然にまかせてほしい」が93.5%と高い。

性別では、女性で「延命のみを目的とした医療は行わず、自然にまかせてほしい」が93.8%と高くなっている。

現在の健康状態別にみると、良い層では「延命のみを目的とした医療は行わず、自然にまかせてほしい」が91.4%と高くなっている。

<60歳以上>

都市規模別にみると、大都市で「延命のみを目的とした医療は行わず、自然にまかせてほしい」が90.3%とやや高い。

性別では、女性で「延命のみを目的とした医療は行わず、自然にまかせてほしい」が90.3%とやや高い。

現在の健康状態別では、良くない層で「延命のみを目的とした医療は行わず、自然にまかせてほしい」が80.2%とやや低く、「わからない」が13.2%とやや高い。

表3 - 4 - 1 属性別にみた自分についての延命医療に対する考え方 (Q 2 5)

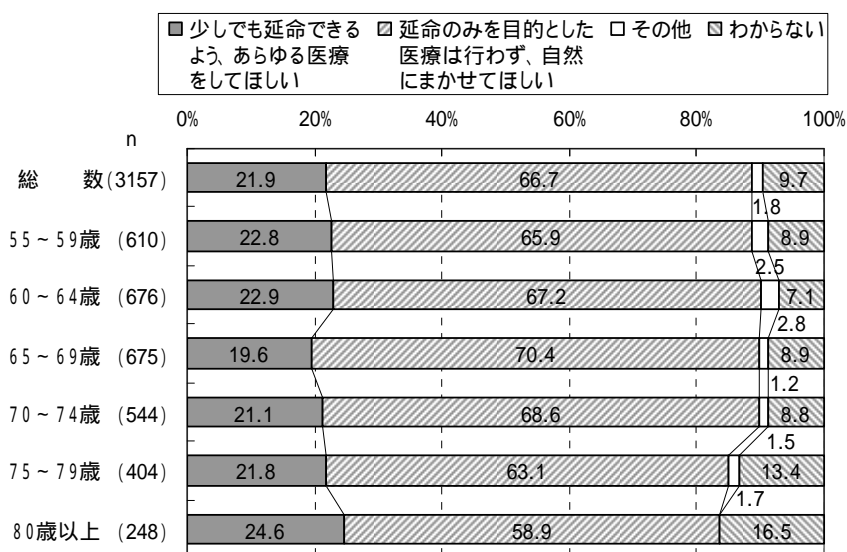
(単位：%)	総数	延命の為 あらゆる 医療をし てほしい	自然にま かせてほ しい	その他	わからな い
【総数】	3157	7.2	88.4	0.3	4.1
*都市規模別					
大都市	703	5.7	89.9	0.4	4.0
中都市	1262	7.7	87.8	0.2	4.3
小都市	790	7.6	87.8	0.6	3.9
町村	402	7.2	88.6	-	4.2
F 1 性別					
男性	1488	9.4	85.4	0.3	4.9
女性	1669	5.2	91.0	0.4	3.4
F 2 年齢					
55～59歳	610	5.7	90.2	1.0	3.1
60～64歳	676	7.7	88.8	-	3.6
65～69歳	675	6.8	89.2	0.1	3.9
70～74歳	544	7.4	88.2	0.2	4.2
75～79歳	404	6.9	87.4	0.7	5.0
80歳以上	248	10.1	82.7	-	7.3
Q 1 現在の健康状態					
良い	1085	6.1	90.9	0.4	2.7
まあ良い	657	7.8	87.8	-	4.4
普通	822	7.8	87.7	0.4	4.1
あまり良くない	493	8.1	86.0	0.6	5.3
良くない	100	5.0	82.0	1.0	12.0
良い(計)	1742	6.7	89.7	0.2	3.3
良くない(計)	593	7.6	85.3	0.7	6.4
【55～59歳】					
総数	610	5.7	90.2	1.0	3.1
*都市規模別					
大都市	126	6.3	88.1	1.6	4.0
中都市	226	8.4	88.1	0.4	3.1
小都市	166	3.0	92.8	1.8	2.4
町村	92	3.3	93.5	-	3.3
F 1 性別					
男性	271	7.7	85.6	1.1	5.5
女性	339	4.1	93.8	0.9	1.2
Q 1 現在の健康状態					
良い	278	5.0	91.4	1.1	2.5
まあ良い	107	4.7	94.4	-	0.9
普通	165	7.9	86.7	1.2	4.2
あまり良くない	51	5.9	84.3	2.0	7.8
良くない	9	-	100.0	-	-
良い(計)	385	4.9	92.2	0.8	2.1
良くない(計)	60	5.0	86.7	1.7	6.7
【60歳以上】					
総数	2547	7.5	87.9	0.2	4.4
*都市規模別					
大都市	577	5.5	90.3	0.2	4.0
中都市	1036	7.5	87.7	0.2	4.5
小都市	624	8.8	86.5	0.3	4.3
町村	310	8.4	87.1	-	4.5
F 1 性別					
男性	1217	9.8	85.4	0.1	4.8
女性	1330	5.4	90.3	0.3	4.0
Q 1 現在の健康状態					
良い	807	6.4	90.7	0.1	2.7
まあ良い	550	8.4	86.5	-	5.1
普通	657	7.8	88.0	0.2	4.1
あまり良くない	442	8.4	86.2	0.5	5.0
良くない	91	5.5	80.2	1.1	13.2
良い(計)	1357	7.2	89.0	0.1	3.7
良くない(計)	533	7.9	85.2	0.6	6.4

(5) 家族についての延命治療に対する考え方(Q26)

「家族の病気が治る見込みがなく、死期が近くなった場合、延命のための治療を受ける」ことについて尋ねてみると、総数では、「延命のみを目的とした医療は行わず、自然にまかせてほしい」が66.7%、「少しでも延命できるよう、あらゆる医療をしてほしい」は21.9%であった。「少しでも延命できるよう、あらゆる医療をしてほしい」は、自分自身(Q25)と比較すると、14.2ポイント高くなっている。

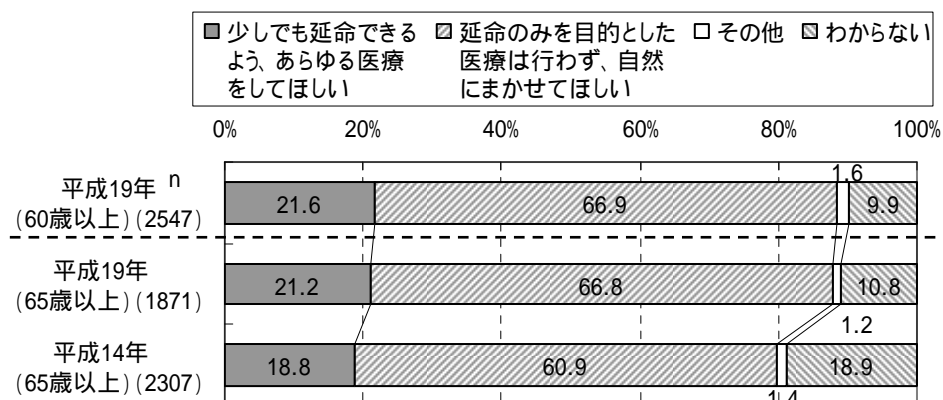
年齢別で見ると、「少しでも延命できるよう、あらゆる医療をしてほしい」は80歳以上でやや高くなっている。

図3-5-1 家族についての延命治療に対する考え方(Q26)



65歳以上について、時系列にみると、平成14年調査と比較して、今回調査では「延命のみを目的とした医療は行わず、自然にまかせてほしい」は60.9%から66.8%に上昇し、「少しでも延命できるよう、あらゆる医療をしてほしい」も18.8%から21.2%に上昇している。一方、「わからない」は18.9%から10.8%に低下している。

図3-5-2 時系列にみた家族についての延命治療に対する考え方(Q26)



<総数>

都市規模別にみると、中都市、大都市では「少しでも延命できるよう、あらゆる医療をしてほしい」がやや高い。

性別でみると、女性よりも男性で「少しでも延命できるよう、あらゆる医療をしてほしい」が高くなっている。

未婚・既婚別にみると、既婚（配偶者と離別）で「少しでも延命できるよう、あらゆる医療をしてほしい」が30.1%と、他と比較して高い。既婚（配偶者あり）では、「延命のみを目的とした医療は行わず、自然にまかせてほしい」が高い傾向にある。

世帯構成別にみると、三世帯世帯で「少しでも延命できるよう、あらゆる医療をしてほしい」が高い傾向にある。

子どもの有無別にみると、いる層では、いない層よりも「少しでも延命できるよう、あらゆる医療をしてほしい」が高い傾向にある。

<55～59歳>

都市規模別にみると、中都市、小都市で「少しでも延命できるよう、あらゆる医療をしてほしい」がやや高い。

性別では、大きな差はみられない。

未婚・既婚別にみると、既婚（配偶者と死別）、既婚（配偶者と離別）で「少しでも延命できるよう、あらゆる医療をしてほしい」が、既婚（配偶者あり）では「延命のみを目的とした医療は行わず、自然にまかせてほしい」が、それぞれ、他と比較して高くなっている。

世帯構成別にみると、三世帯世帯で「少しでも延命できるよう、あらゆる医療をしてほしい」が高い。

子どもの有無別にみると、いる層ではいない層よりも「少しでも延命できるよう、あらゆる医療をしてほしい」が34.3%と高い。

<60歳以上>

都市規模別にみると、中都市、小都市で「少しでも延命できるよう、あらゆる医療をしてほしい」がやや高い。

性別でみると、女性よりも男性の方が「少しでも延命できるよう、あらゆる医療をしてほしい」が高い。

世帯構成別にみると、一世帯世帯で「延命のみを目的とした医療は行わず、自然にまかせてほしい」が72.9%と高くなっている。

子どもの有無別にみると、いる層ではいない層よりも「少しでも延命できるよう、あらゆる医療をしてほしい」が高い。

表3 - 5 - 1 属性別にみた家族についての延命治療に対する考え方 (Q 2 6)

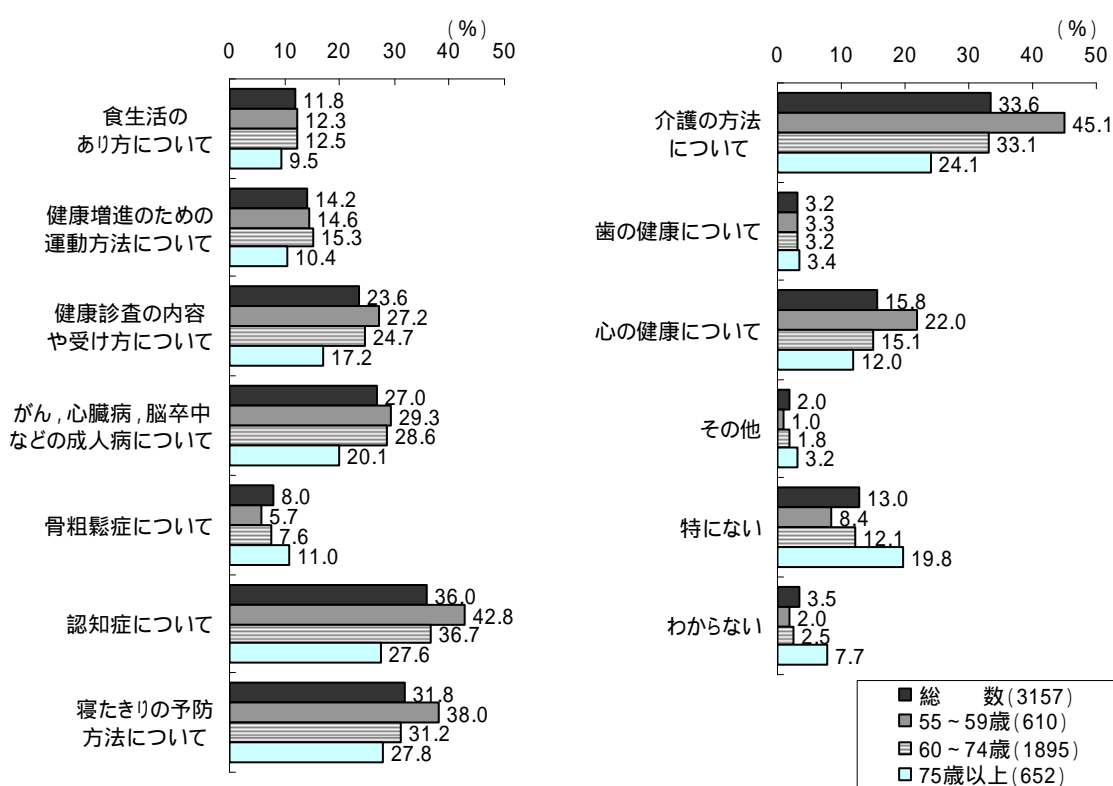
	総 数	延命の為 あらゆる 医療をし てほしい	自然にま かせてほ しい	その他	わからな い
(単位 : %)					
【 総 数 】	3157	21.9	66.7	1.8	9.7
* 都市規模別					
大都市	703	18.6	68.6	2.0	10.8
中都市	1262	23.2	65.5	1.8	9.5
小都市	790	23.3	66.1	1.5	9.1
町村	402	20.4	68.4	2.0	9.2
F 1 性別					
男性	1488	23.5	65.1	1.9	9.5
女性	1669	20.4	68.1	1.7	9.8
F 2 年齢					
5 5 ~ 5 9 歳	610	22.8	65.9	2.5	8.9
6 0 ~ 6 4 歳	676	22.9	67.2	2.8	7.1
6 5 ~ 6 9 歳	675	19.6	70.4	1.2	8.9
7 0 ~ 7 4 歳	544	21.1	68.6	1.5	8.8
7 5 ~ 7 9 歳	404	21.8	63.1	1.7	13.4
8 0 歳以上	248	24.6	58.9	-	16.5
F 3 未婚					
未婚	95	12.6	57.9	3.2	26.3
既婚 (配偶者あり)	2516	21.4	69.1	1.9	7.6
既婚 (配偶者と死別)	443	24.4	57.6	0.7	17.4
既婚 (配偶者と離別)	103	30.1	54.4	2.9	12.6
* 世帯構成					
一人暮らし	302	20.2	52.0	2.0	25.8
一世代世帯	1240	18.7	72.4	2.0	6.9
二世代世帯	1008	23.2	66.5	2.1	8.2
(本人と子)	870	23.0	66.6	2.1	8.4
(本人と親)	138	24.6	65.9	2.2	7.2
三世代世帯	534	27.9	62.0	0.7	9.4
その他の世帯	73	19.2	67.1	1.4	12.3
F 7 子どもの有無					
総 数	3157	21.9	66.7	1.8	9.7
いる	2913	22.5	66.9	1.7	9.0
いない	244	14.8	64.3	2.9	18.0
【 5 5 ~ 5 9 歳 】					
総 数	610	22.8	65.9	2.5	8.9
* 都市規模別					
大都市	126	18.3	67.5	5.6	8.7
中都市	226	25.7	64.6	1.3	8.4
小都市	166	24.1	65.7	0.6	9.6
町村	92	19.6	67.4	4.3	8.7
F 1 性別					
男性	271	22.9	63.1	4.1	10.0
女性	339	22.7	68.1	1.2	8.0
F 3 未婚					
未婚	39	12.8	66.7	2.6	17.9
既婚 (配偶者あり)	509	22.8	67.2	2.6	7.5
既婚 (配偶者と死別)	27	29.6	59.3	-	11.1
既婚 (配偶者と離別)	35	28.6	51.4	2.9	17.1
* 世帯構成					
一人暮らし	42	2.4	64.3	4.8	28.6
一世代世帯	163	20.9	69.3	2.5	7.4
二世代世帯	285	23.2	66.7	3.2	7.0
(本人と子)	226	22.6	66.8	4.0	6.6
(本人と親)	59	25.4	66.1	-	8.5
三世代世帯	99	34.3	58.6	-	7.1
その他の世帯	21	19.0	66.7	-	14.3
F 7 子どもの有無					
いる	543	24.1	65.7	2.0	8.1
いない	67	11.9	67.2	6.0	14.9
【 6 0 歳以上 】					
総 数	2547	21.6	66.9	1.6	9.9
* 都市規模別					
大都市	577	18.7	68.8	1.2	11.3
中都市	1036	22.7	65.6	1.9	9.7
小都市	624	23.1	66.2	1.8	9.0
町村	310	20.6	68.7	1.3	9.4
F 1 性別					
男性	1217	23.6	65.6	1.5	9.4
女性	1330	19.8	68.0	1.8	10.3
F 3 未婚					
未婚	56	12.5	51.8	3.6	32.1
既婚 (配偶者あり)	2007	21.1	69.6	1.7	7.6
既婚 (配偶者と死別)	416	24.0	57.5	0.7	17.8
既婚 (配偶者と離別)	68	30.9	55.9	2.9	10.3
* 世帯構成					
一人暮らし	260	23.1	50.0	1.5	25.4
一世代世帯	1077	18.4	72.9	1.9	6.8
二世代世帯	723	23.2	66.4	1.7	8.7
(本人と子)	644	23.1	66.5	1.4	9.0
(本人と親)	79	24.1	65.8	3.8	6.3
三世代世帯	435	26.4	62.8	0.9	9.9
その他の世帯	52	19.2	67.3	1.9	11.5
F 7 子どもの有無					
いる	2370	22.1	67.1	1.6	9.2
いない	177	15.8	63.3	1.7	19.2

(6) 健康管理に関する行政への期待 (Q27)

「高齢者の健康管理について国や地方自治体に力を入れてほしいこと」について尋ねてみると、総数では、「認知症について」が36.0%で最も高く、「介護の方法について」(33.6%)、「寝たきり予防について」(31.8%)、「がん、心臓病、脳卒中などの成人病について」(27.0%)、「健康診断の内容や受け方について」(23.6%)などの順となっている。

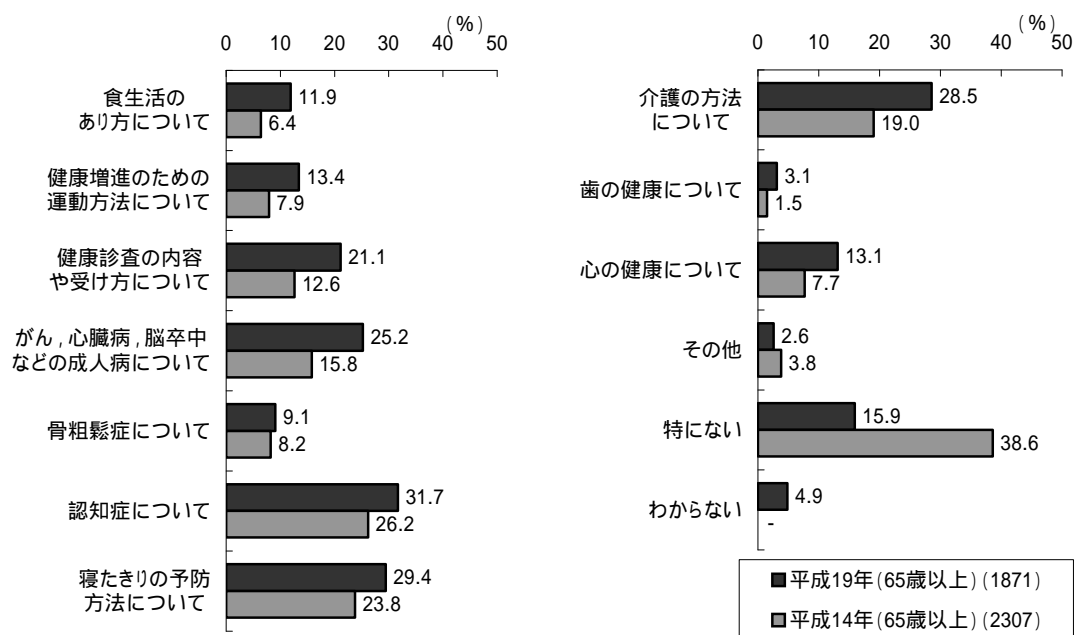
年齢別にみると、「食生活のあり方について」「健康増進のための運動方法について」は55～59歳、60～74歳でほぼ同じ水準であるが、75歳以上になるとその割合は低くなる。また、「健康診断の内容や受け方について」「がん、心臓病、脳卒中などの成人病について」「認知症について」「寝たきりの予防方法について」「介護の方法について」「心の健康について」は、55～59歳をピークに年齢が上がるほど低くなっている。一方、「骨粗鬆症について」は年齢が上がるほど高くなっている。

図3-6-1 健康管理に関する行政への期待 (Q27 3つまで)



65 歳以上について、時系列にみると、平成 14 年調査と比較して、今回調査では「特にない」が 38.6%から 15.9%に低下し、他の項目がいずれも上昇している。上昇が大きかったのは、「介護の方法について」(19.0% 28.5%)、「がん、心臓病、脳卒中などの成人病について」(15.8% 25.2%)、「健康診断の内容や受け方について」(12.6% 21.1%) などである。

図 3 - 6 - 2 時系列にみた健康管理に関する行政への期待 (Q 2 7 3 つまで)



<総数>

都市規模別にみると、町村では「健康診断の内容や受け方について」、大都市では「心の健康について」がやや高くなっている。

性別でみると、男性では「がん、心臓病、脳卒中などの成人病について」が、女性では「認知症について」「寝たきり予防方法について」がそれぞれ高くなっている。

年齢別にみると、「骨粗鬆症について」は年齢層が上がるほど高くなる傾向がみられる。また、年齢層とともに「特にない」も高くなっている。他の項目では、概ね年齢層が低いほど高い傾向にあり、特に「認知症について」「介護の方法について」「がん、心臓病、脳卒中などの成人病について」などで、その傾向が顕著である。

現在の健康状態別にみると、良い（計）層では、良くない（計）層と比較して、「健康診断の内容や受け方について」「健康増進のための運動方法について」「認知症について」が高くなっている。

<55～59歳>

都市規模別にみると、町村では「健康診断の内容や受け方について」「介護の方法について」が、大都市では「心の健康について」がやや高くなっている。

性別でみると、男性では「がん、心臓病、脳卒中などの成人病について」が、女性では「認知症について」がそれぞれ高くなっている。

現在の健康状態別にみると、現在の健康状態別にみると、良い（計）層では、「健康診断の内容や受け方について」「認知症について」が高くなっている。良くない（計）層では、「特にない」が高い。

<60歳以上>

都市規模別にみると、小都市、町村で「健康診断の内容や受け方について」が高い。都市規模が大きいほど、「認知症について」「介護の方法について」「心の健康について」が高くなる傾向がある。

性別でみると、男性では「がん、心臓病、脳卒中などの成人病について」が、女性では「認知症について」「寝たきり予防方法について」がそれぞれ高い。

現在の健康状態別にみると、良い（計）層と比較して、良くない（計）層で「寝たきり予防方法について」が高くなっている。

表3 - 6 - 2 属性別にみた健康管理に関する行政への期待（Q27 3つまで）（1）

(単位：%)	総数	食生活のあり方について	健康増進のための運動方法について	健康診査の内容や受け方について	がん、心臓病などの成人病について	骨粗鬆症について	認知症について
**【総数】*	3157	11.8	14.2	23.6	27.0	8.0	36.0
*都市規模別							
大都市	703	11.8	11.7	21.5	27.6	7.0	37.3
中都市	1262	12.8	14.5	22.7	26.2	8.7	36.8
小都市	790	11.4	14.9	25.3	29.6	8.1	35.4
町村	402	9.5	15.9	27.1	23.1	7.0	32.3
F1 性別							
男性	1488	11.6	15.3	25.5	31.9	4.6	30.8
女性	1669	12.0	13.1	21.9	22.6	11.0	40.6
F2 年齢							
55～59歳	610	12.3	14.6	27.2	29.3	5.7	42.8
60～64歳	676	11.1	15.8	27.4	29.7	6.8	41.7
65～69歳	675	14.2	16.1	23.7	29.8	8.1	35.4
70～74歳	544	11.9	13.6	22.6	25.7	7.9	32.0
75～79歳	404	8.4	10.4	18.3	23.3	10.6	30.2
80歳以上	248	11.3	10.5	15.3	14.9	11.7	23.4
Q1 現在の健康状態							
良い	1085	13.5	18.0	25.3	28.0	6.3	35.8
まあ良い	657	12.6	14.8	25.7	25.9	7.5	38.2
普通	822	11.8	12.4	25.1	28.1	8.6	39.7
あまり良くない	493	8.7	8.7	17.2	26.0	11.0	30.4
良くない	100	4.0	10.0	12.0	19.0	9.0	21.0
良い(計)	1742	13.1	16.8	25.4	27.2	6.7	36.7
良くない(計)	593	7.9	8.9	16.4	24.8	10.6	28.8

(単位：%)	寝たきりの予防方法について	介護の方法について	歯の健康について	心の健康について	その他	特にない	わからない
**【総数】*	31.8	33.6	3.2	15.8	2.0	13.0	3.5
*都市規模別							
大都市	33.0	34.0	3.4	17.9	2.1	11.4	4.4
中都市	31.8	34.5	3.5	15.8	2.1	11.9	4.0
小都市	34.4	33.3	2.8	15.1	1.9	13.2	2.2
町村	24.9	30.3	3.0	13.4	1.2	18.7	2.7
F1 性別							
男性	27.9	32.7	3.2	14.3	2.5	14.9	3.4
女性	35.4	34.3	3.3	17.1	1.5	11.2	3.5
F2 年齢							
55～59歳	38.0	45.1	3.3	22.0	1.0	8.4	2.0
60～64歳	32.8	37.1	3.6	17.6	1.2	8.9	1.0
65～69歳	30.8	33.9	3.4	14.7	2.1	11.4	2.5
70～74歳	29.8	27.2	2.4	12.5	2.4	16.9	4.4
75～79歳	29.0	27.0	3.0	13.4	3.2	19.1	6.2
80歳以上	25.8	19.4	4.0	9.7	3.2	21.0	10.1
Q1 現在の健康状態							
良い	29.1	34.3	3.6	16.1	1.5	12.2	2.8
まあ良い	32.1	32.6	2.6	15.1	3.0	12.9	2.1
普通	34.9	36.3	3.8	17.4	1.3	11.3	3.0
あまり良くない	34.1	30.0	2.8	13.6	2.0	16.0	5.5
良くない	23.0	28.0	1.0	14.0	5.0	20.0	14.0
良い(計)	30.3	33.6	3.2	15.7	2.1	12.5	2.5
良くない(計)	32.2	29.7	2.5	13.7	2.5	16.7	6.9

表3 - 6 - 3 属性別にみた健康管理に関する行政への期待 (Q27 3つまで)(2)

(単位：%)	総数	食生活のあり方について	健康増進のための運動方法について	健康診査の内容や受け方について	がん、心臓病などの成人病について	骨粗鬆症について	認知症について
【55～59歳】							
総数	610	12.3	14.6	27.2	29.3	5.7	42.8
*都市規模別							
大都市	126	10.3	10.3	31.0	27.8	6.3	40.5
中都市	226	11.1	13.3	23.5	32.7	5.8	44.2
小都市	166	14.5	16.3	26.5	31.9	5.4	43.4
町村	92	14.1	20.7	32.6	18.5	5.4	41.3
F1 性別							
男性	271	11.8	16.6	26.2	33.9	3.7	35.4
女性	339	12.7	13.0	28.0	25.7	7.4	48.7
Q1 現在の健康状態							
良い	278	11.9	15.5	28.1	32.4	4.7	41.7
まあ良い	107	12.1	17.8	34.6	23.4	1.9	44.9
普通	165	15.2	13.3	24.8	29.7	10.3	47.3
あまり良くない	51	5.9	7.8	15.7	25.5	5.9	33.3
良くない	9	11.1	11.1	22.2	22.2	-	22.2
良い(計)	385	11.9	16.1	29.9	29.9	3.9	42.6
良くない(計)	60	6.7	8.3	16.7	25.0	5.0	31.7
【60歳以上】							
総数	2547	11.7	14.1	22.8	26.4	8.5	34.4
*都市規模別							
大都市	577	12.1	12.0	19.4	27.6	7.1	36.6
中都市	1036	13.2	14.8	22.5	24.8	9.4	35.1
小都市	624	10.6	14.6	25.0	29.0	8.8	33.3
町村	310	8.1	14.5	25.5	24.5	7.4	29.7
F1 性別							
男性	1217	11.6	15.0	25.4	31.5	4.8	29.8
女性	1330	11.8	13.2	20.4	21.8	11.9	38.5
Q1 現在の健康状態							
良い	807	14.0	18.8	24.3	26.5	6.8	33.7
まあ良い	550	12.7	14.2	24.0	26.4	8.5	36.9
普通	657	11.0	12.2	25.1	27.7	8.2	37.7
あまり良くない	442	9.0	8.8	17.4	26.0	11.5	30.1
良くない	91	3.3	9.9	11.0	18.7	9.9	20.9
良い(計)	1357	13.5	16.9	24.2	26.5	7.5	35.0
良くない(計)	533	8.1	9.0	16.3	24.8	11.3	28.5

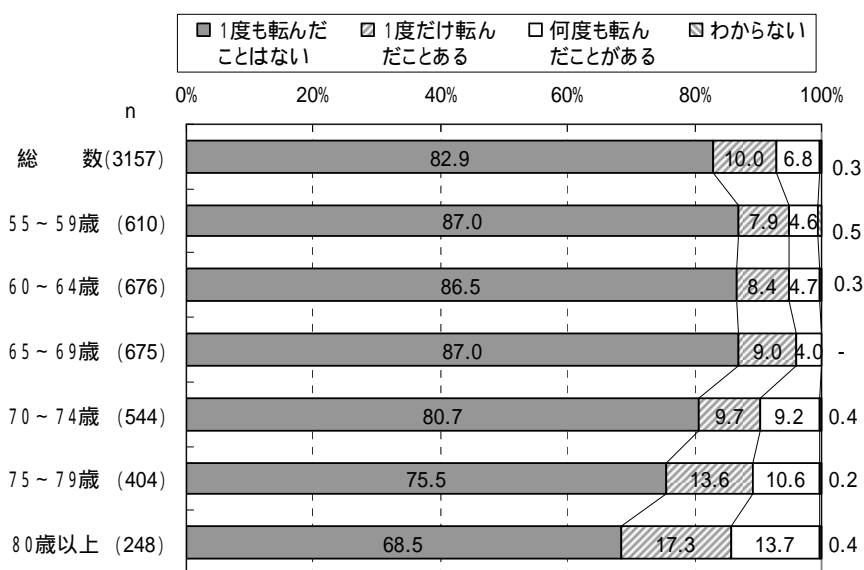
(単位：%)	寝たきりの予防方法について	介護の方法について	歯の健康について	心の健康について	その他	特にない	わからない
【55～59歳】							
総数	38.0	45.1	3.3	22.0	1.0	8.4	2.0
*都市規模別							
大都市	41.3	38.1	1.6	26.2	0.8	10.3	3.2
中都市	37.2	49.6	4.9	23.5	1.3	6.2	1.3
小都市	41.0	41.0	2.4	16.3	0.6	10.8	1.8
町村	30.4	51.1	3.3	22.8	1.1	6.5	2.2
F1 性別							
男性	34.7	43.2	3.3	20.7	1.8	10.3	2.2
女性	40.7	46.6	3.2	23.0	0.3	6.8	1.8
Q1 現在の健康状態							
良い	38.5	45.7	3.2	22.7	1.1	6.5	1.8
まあ良い	43.0	44.9	4.7	22.4	1.9	7.5	0.9
普通	35.8	44.8	3.0	20.6	-	7.9	1.8
あまり良くない	35.3	45.1	2.0	21.6	2.0	19.6	3.9
良くない	22.2	33.3	-	22.2	-	22.2	11.1
良い(計)	39.7	45.5	3.6	22.6	1.3	6.8	1.6
良くない(計)	33.3	43.3	1.7	21.7	1.7	20.0	5.0
【60歳以上】							
総数	30.3	30.8	3.2	14.3	2.2	14.1	3.8
*都市規模別							
大都市	31.2	33.1	3.8	16.1	2.4	11.6	4.7
中都市	30.6	31.3	3.2	14.1	2.3	13.1	4.6
小都市	32.7	31.3	2.9	14.7	2.2	13.8	2.2
町村	23.2	24.2	2.9	10.6	1.3	22.3	2.9
F1 性別							
男性	26.4	30.4	3.1	12.9	2.6	15.9	3.7
女性	34.0	31.2	3.3	15.6	1.8	12.3	4.0
Q1 現在の健康状態							
良い	25.9	30.4	3.7	13.9	1.6	14.1	3.1
まあ良い	30.0	30.2	2.2	13.6	3.3	14.0	2.4
普通	34.7	34.1	4.0	16.6	1.7	12.2	3.3
あまり良くない	33.9	28.3	2.9	12.7	2.0	15.6	5.7
良くない	23.1	27.5	1.1	13.2	5.5	19.8	14.3
良い(計)	27.6	30.3	3.1	13.8	2.3	14.1	2.8
良くない(計)	32.1	28.1	2.6	12.8	2.6	16.3	7.1

(7) 自宅における転倒事故 (Q28)

「この1年間に、転んだことがあるか」について尋ねたところ、総数では、「1度も転んだことはない」が82.9%を占め、「1度だけ転んだことがある」は10.0%、「何度もころんだことがある」は6.8%となっている。

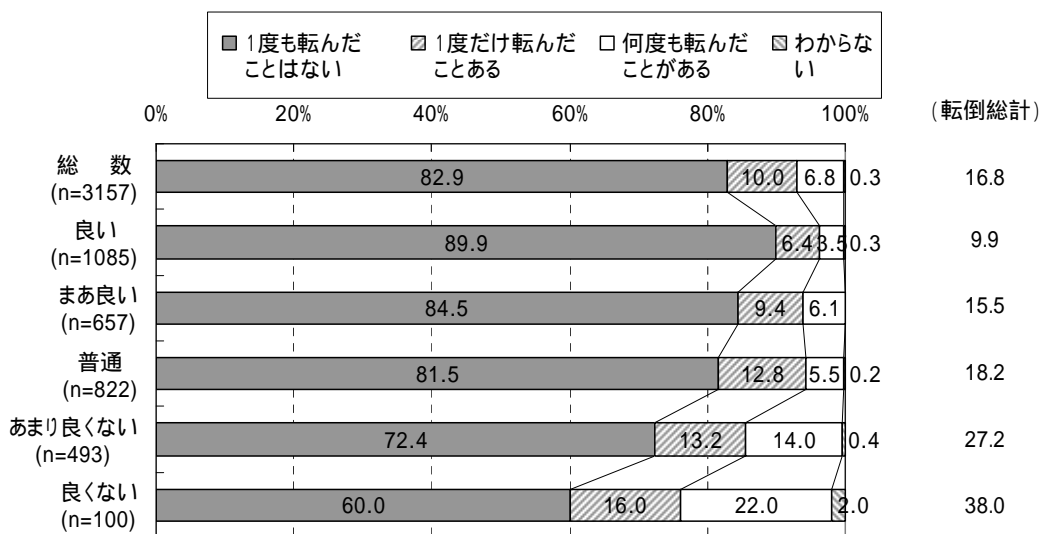
年齢別にみると、年齢層が高くなるほど、転倒経験が高くなる傾向が明らかである。「1度だけ転んだことがある」「何度もころんだことがある」の合計は、75~79歳では24.3%、80歳以上では31.0%となっている。

図3-7-1 自宅における転倒事故 (Q28)



健康状態別にみると、健康状態が良くない人ほど転倒事故を経験している割合が高い。

図3-7-2 健康状態別にみた自宅における転倒事故 (Q28)



<総数>

都市規模別にみると、大都市で転倒経験がやや高い。

性別でみると、男性よりも女性の方が、転倒経験が高くなり、女性では「1度だけ転んだことがある」「何度もころんだことがある」の合計は19.3%となっている。

現在の健康状態別にみると、「1度だけ転んだことがある」「何度もころんだことがある」の合計は、あまり良くない層では27.2%、良くない層では38.0%と高い。

<55～59歳>

都市規模別にみると、大きな差はみられない。

性別でみると、女性で「1度だけ転んだことがある」がやや高い。

現在の健康状態別にみると、「1度だけ転んだことがある」「何度もころんだことがある」の合計は、良くない層では22.2%となっている。

<60歳以上>

都市規模別にみると、大都市で転倒経験がやや高い。

性別でみると、女性では「1度だけ転んだことがある」「何度もころんだことがある」の合計は20.7%と高くなっている。

現在の健康状態別にみると、「1度だけ転んだことがある」「何度もころんだことがある」の合計は、あまり良くない層では28.1%、良くない層では39.6%と高くなっている。

表3-7-1 属性別にみた自宅における転倒事故(Q28)

(単位：%)	総数	1度も転んだことはない	1度だけ転んだことがある	何度も転んだことがある	わからない	転んだことがある(計)
【総数】	3157	82.9	10.0	6.8	0.3	16.8
*都市規模別						
大都市	703	80.5	11.0	8.4	0.1	19.3
中都市	1262	83.0	11.1	5.7	0.2	16.8
小都市	790	84.2	8.2	7.0	0.6	15.2
町村	402	84.3	8.7	7.0	-	15.7
F1 性別						
男性	1488	85.6	7.5	6.5	0.4	14.0
女性	1669	80.5	12.3	7.0	0.2	19.3
F2 年齢						
55～59歳	610	87.0	7.9	4.6	0.5	12.5
60～64歳	676	86.5	8.4	4.7	0.3	13.2
65～69歳	675	87.0	9.0	4.0	-	13.0
70～74歳	544	80.7	9.7	9.2	0.4	18.9
75～79歳	404	75.5	13.6	10.6	0.2	24.3
80歳以上	248	68.5	17.3	13.7	0.4	31.0
Q1 現在の健康状態						
良い	1085	89.9	6.4	3.5	0.3	9.9
まあ良い	657	84.5	9.4	6.1	-	15.5
普通	822	81.5	12.8	5.5	0.2	18.2
あまり良くない	493	72.4	13.2	14.0	0.4	27.2
良くない	100	60.0	16.0	22.0	2.0	38.0
良い(計)	1742	87.8	7.5	4.5	0.2	12.0
良くない(計)	593	70.3	13.7	15.3	0.7	29.0
【55～59歳】						
総数	610	87.0	7.9	4.6	0.5	12.5
*都市規模別						
大都市	126	87.3	7.1	5.6	-	12.7
中都市	226	85.4	10.2	4.0	0.4	14.2
小都市	166	88.0	6.0	4.8	1.2	10.8
町村	92	89.1	6.5	4.3	-	10.9
F1 性別						
男性	271	88.6	4.8	5.9	0.7	10.7
女性	339	85.8	10.3	3.5	0.3	13.9
Q1 現在の健康状態						
良い	278	89.6	7.2	2.5	0.7	9.7
まあ良い	107	88.8	8.4	2.8	-	11.2
普通	165	84.8	9.1	6.1	-	15.2
あまり良くない	51	80.4	5.9	13.7	-	19.6
良くない	9	66.7	11.1	11.1	11.1	22.2
良い(計)	385	89.4	7.5	2.6	0.5	10.1
良くない(計)	60	78.3	6.7	13.3	1.7	20.0
【60歳以上】						
総数	2547	81.9	10.6	7.3	0.2	17.9
*都市規模別						
大都市	577	79.0	11.8	9.0	0.2	20.8
中都市	1036	82.4	11.3	6.1	0.2	17.4
小都市	624	83.2	8.8	7.5	0.5	16.3
町村	310	82.9	9.4	7.7	-	17.1
F1 性別						
男性	1217	84.9	8.1	6.7	0.3	14.8
女性	1330	79.2	12.8	7.9	0.2	20.7
Q1 現在の健康状態						
良い	807	90.0	6.1	3.8	0.1	9.9
まあ良い	550	83.6	9.6	6.7	-	16.4
普通	657	80.7	13.7	5.3	0.3	19.0
あまり良くない	442	71.5	14.0	14.0	0.5	28.1
良くない	91	59.3	16.5	23.1	1.1	39.6
良い(計)	1357	87.4	7.5	5.0	0.1	12.5
良くない(計)	533	69.4	14.4	15.6	0.6	30.0